報告日 令和5年12月5日 報告回次 1日目

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	あさぎり町役場			代表者名	北口 俊朗
担当者部署	企画政策課		連絡先電話番号	0966451111	
担当者役職	デジタル政策審議監	担当者氏名	中野 裕登	連絡先E-mail	
住所	868-0408 熊本県あさぎり町免田東1199				

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大山 水帆	
評価	大変よい	
中(どのよう		表過程を丁寧にご教示いただくとともに、当方からの質問にも瞬発力高くご めかに勝ち取っていただけたため。初回の講演としては、申し分ない質で
アドバイザー への要望事項	特段ありません。引き続き、第4回までお願いいた	します。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1.	派遣日予定日(応募依頼より)	支援内容(応募依頼より)	期日・支援内容の変更あり		
対応日・時間	令和5年11月30日	講演	無		
			開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
			10時00分	12時00分	0
				活動時間(分)	120

4.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 ○掲載可

https://www.r-ict-advisor.ip/cases-case-good practices/past year all houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

り、依頼内台及び文族を支げたことによる成未・効未				
5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数		
	職員	11 <mark>人</mark>		
5-2. 支援を受けるにあたって目指し	こ成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決し	た成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	現時点では、「ChatGPT等の生成AI活用検討PT」となる、業務利用に適したChatGPT等の生成AIの検討、PT内での試行的利用を想定した場合におけの課題として認識している。			
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	業務利用に適したChatGPT等の生成AIの選定、生PT内での試行的利用を想定した場合における調整の提供、PTの活動内容・方針に対する指導助言を成AI利用を行うに当たって調整が必要な事項を明ら	事項・運用体制の検討に当たり、必要となる情報 アドバイザーにいただくことにより、庁内での生		
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	戸田市での実装事例を参考に生成AIの業務利用に係だくとともに、本町における実証実験を実施するたた。	系る基本的な考え方及び知識について情報提供いた こめに必要な検討項目についてご示唆をいただい		
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)		業務利用に至るまでの調整の進め方について、対 ごけたことで、今後のビジョンを具体的に思い描く		

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容	次回派遣時には、「庁内ルールの策定」をテーマは	二戸田市における利用基準の詳解をいただく予定。
持ち越しとなった内容		
(具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果 についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	時間的な都合により実施しなかった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

なお、くその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



▲ 講演風景(モニター右下に大山様のお姿をご確認いただけ



▲ 講演風景



▲ 講演中の画面(スクリーンショット)